鉄研部員のコミケ戦記+後日談

Zen2おじさん

※この記事は冊子版の記事に内容を追加したものです



会場となる東京国際展示場（ビッグサイト）

「コミックマーケット」をご存知だろうか？

コミックマーケット（通称:コミケット、コミケ）とは、毎年夏と冬の年二回、東京・有明の東京国際展示場（ビッグサイト）にて開催される世界最大の同人誌即売会である。その参加人数は一日あたり10万人を超える規模で、多くの参加者が我先にと同人誌やグッズ等（俗に、戦利品と呼ばれる）を買い漁る光景は「戦場」とも形容される。ジャンルは多くの人が思い浮かべるであろうオリジナルの漫画や小説、ゲーム・アニメ作品の二次創作、コスプレに加え、自主制作の音楽やゲーム、評論や学術誌など多岐にわたる。そして、その中の一つに「鉄道・旅行・メカミリ」というジャンルも存在する。前々から鉄道を含むいくつかのジャンルに興味があった私は、2025年末に開催されたコミックマーケット107（C107）に意を決して参加してきた。初参加だというのに欲張って1日目も2日目も午前入場で行ってきたので、その体験、攻略法を綴ろうと思う。

0.前日までの準備

コミケの争奪戦は開催前から既に始まっている。今回(冬コミ、12/30~31の2日開催)の場合、11月下旬には一般参加者の中で最速で入場できるアーリー入場チケットの抽選申し込みが始まり、12月上旬には抽選結果発表の後にリストバンド型参加証がアニメイト等の全国の店舗とオンラインで発売開始される。アーリー入場チケットは￥5000と学生にとっては高価なので、私は午前入場リストバンド(￥1210)を購入した。イオン土浦のアニメイトで発売2日後に購入したが、1週間経った頃から店舗・オンライン共に品切れが目立つようになり、開催直前では転売が問題となる程だったのでできるだけ早めの購入をお勧めする。

参加証を手に入れたら、訪れたいサークルを探す。何も目的を持たずに行くよりもしっかりと準備して回るほうが充実したコミケを過ごすことができる。自分の場合、コミケWebカタログかTwitter（現X）を閲覧してサークルを調べた。コミケWebカタログは大まかなジャンルごとに分かれて各サークルの情報やサークルカットが公開されている。一部は頒布物の内容を掲載しているが、サークルによって対応がまちまちだ。また、無料会員の場合一定時間閲覧するとライフという名の約5分の制限時間が切れ、回復するまでカタログを閲覧できなくなるというストレスの溜まる仕様である。課金しないのであれば定期的に訪れてサークルカットを一気に確認し気になるサークルを見つけるしかない。一方、Twitterは制限時間がなく、お品書きを掲載するサークルも多い。ハッシュタグを使って#鉄道島や#C107といったワードで検索すれば参加やお品書きの情報が次々と見つかる（ただし最近の検索機能改悪によって探しづらくなっている可能性あり。）上、それらのツイートをいいねしていると自然とタイムラインにもコミケ関連のおすすめ情報が流れてくるようになる好循環が存在する。興

味を持ったサークルをブックマークして簡単に保存できることもあり、結局、自分が行くサークルはほとんどTwitterで決めた。

1.会場への移動

コミケで目的のブツを手に入れるにはできるだけ早く入場することが肝心。最速でビッグサイトに到着するため、我々にとってはすっかりお馴染みとなっている土浦5:22発の始発列車1120M品川行きに乗車する。普段は土浦から連結する空いている後ろ5両に乗るのだが、今回は京葉線で向かうので東京駅で乗り換えやすい前寄りの2号車へ。勝田から来ている分こちらのほうが混雑しているが、何とかボックスシートに座ることができた。席に着いてふと顔を上げるとボックスシートの向かい側にコミケで人気ジャンルとなっている某ソーシャルゲームのグッズを大量に着用している人が座っていてこれから戦場へ向かう同志だと確信。勝手に連帯感を感じながら帰省客と思われるスーツケースを持った人々を多く乗せた列車は常磐路を上っていく。北千住でTXから来た友人と合流した。



東京臨海高速鉄道70-000型
大崎駅にて別日に撮影

東京駅で京葉線海浜幕張行きに11分で乗り換え、という計画で一日目は何事もなく行けたのだが、二日目は浜松町駅での人身事故の影響で山手線、京浜東北線、上野東京ラインが一時運転見合わせ。乗ってきた常磐線品川行きは上野止まりとなり、一度は隣のホームの東海道線に乗り換えるよう案内されたが上野東京ラインは再開の見通しが立たず、結局山手線で東京駅に向かうことになった。日暮里～品川間のダイヤ乱れは上野東京ラインの再開が遅いのでさっさと山手線に乗り換えるのが吉らしい。

新木場駅でﾄｳｷｮｳﾘﾝｶｲｺｳｿｸﾃﾂﾄﾞｳﾘﾝｶｲﾗｲﾝに乗り換え。最近のJR東日本汎用発車メロディーの一斉変更の影響を受けていない貴重な路線で、私の好きなCielo Estrelladoという発車メロディーも今ではここでしか聴くことができなくなってしまった。一日目、二日目とも乗った車両はりんかい線独自車両の70-000形。もうすぐりんかい線からは引退する予定だが、なんと一部はJR九州へ譲渡され余生を送るというのだから驚きだ。

一日目は7:03、二日目は運転見合わせの影響で7:20に国際展示場駅へ到着した。

ちなみに、ビッグサイトへ向かうルートは他にもいくつかある。新橋でゆりかもめや東京BRTに乗るルート、京浜東北線大井町からりんかい線で向かうルートがあるが、ゆりかもめや東京BRTはキャパや本数が少なく、大崎方面からのりんかい線は混雑のリスクが高い。特に往路は時間的にも早く、新木場始発でガラガラの京葉線・りんかい線ルートがおすすめだ。

コミケでは前日の夜から並ぶことは禁止されている。前泊をして臨む場合は、ゆりかもめの始発列車の乗客が到着するのを待とう。

2.入場待機

改札を出たら東待機列と西南待機列の案内が出てくるが、ここで最初に東ホールへ行きたいからといって、東待機列に並んではいけない。西南待機列は列の動き出しも入場の勢いも早く、そこから東ホールへ向かうことも可能である一方、東待機列は動き出しが10分程遅く、流入速度も西南待機列よりかなり遅いため同じ時刻に

到着したとしてもホールに入るまで最大30分ほど差がついてしまう。コミケでの30分はかなり大きな差なので、入場は必ず西南地区からにするべきだ。



西南待機列の最後尾は地図のようにつどい橋上になるので、10分ほどかかる結構な距離を歩く。列に並んだらスタッフによる案内や数分～20分ほどの停止を何回か繰り返した後、8時過ぎ頃に入口正面に到着し列が固定された。

列の固定後は入場の11時まで2時間半ほど待つことになる。地面に座るのは大変なので小さな折りたたみ椅子があると良い。待機列ではインターネットの接続が悪くなりがちだが、設定を4G/LTE優先にしておくとつながりやすくなるという小技がある。そしてなにより友人と一緒だと作戦会議、ゲーム(麻雀)、雑談などで時間があっという間に過ぎる。目的のブースが別のホールに散らばっている場合でも代行を頼むことができるというメリットもあるので是非友達を連れて行こう。

3.いざ入場

一般午前入場の開始時刻は11時だが、10:40頃に立ち上がって準備するように指示があり、10:56頃には列が動き出した。ビッグサイトの象徴である会議棟（この中でコミケが行われるわけではない）の下を通り抜け、手首に巻いたリストバンドを掲げながら建物内に入る。エントランスホールから一日目は東ホールへ、二日目は南・西ホールへ向かった。頒布スペースへ到着したのは11:10前後、結構早く着くことが出来たようで、人気かつ頒布数の少ないサークルは元々狙っていなかったこともあり、目当てのものはほとんどゲットすることが出来た（企業ブースの整理券や限定グッズを狙っていた友人はダメだったらしい）。

二日目はお待ちかねの鉄道島へ。コミケ参加者の間では、各ジャンルのサークルが集まっているエリアのことを島と呼称する。鉄道島のサークルはどこも今日の朝に準備されたとは思えないほど「魅せ方」のクオリティが高い。代表例を上げていくと、LED表示幕やトレインビジョン風の液晶を用いた宣伝、スペースでの鉄道模型の展示・運転、さらには国鉄時代の駅の窓口を再現したサークルなど、見て回っているだけでも飽きない趣向



を凝らしたサークルが並んでいた。そして、なぜか業務用のレジや券売機が持ち込まれレシートを受け取れたり、多くのサークルで交通系ICカードが支払いに使えたりと、他エリアの現金受け渡しとは一線を画す購入体験ができるのも特徴の一つだ。頒布物の内容も多種多様で、紀行文・写真集はもちろん、独自調査による時刻表や配線図・運用表、海外の鉄道の解説、模型制作記、マルスやワンマン機器といったニッチな機器のまとめ、自作ATSの作り方、鉄道車両の3Dモデリングのやり方など、知りもしなかった分野を奥深く掘り下げた同人誌を多数見つけることが出来る。大学の鉄道研究サークルの参加も多く、いつかは自分もサークル参加を…なんてことも少し考えた。その一方で絶対的な人気サークルがあるわけではなく、争奪戦が起きないので他の島と比べて穏やかで呼吸のしやすい空気が流れていて、参加者の間で雑談が交わされることもしばしば。他の島で人に揉まれながら戦利品を確保できたあと一息つく場所として最適なのではないだろうか。

4.コミケ攻略のカギ

コミケ初参加の方に知ってほしい展示場内についての情報がいくつかあるので羅列する。

①南・西ホールから東ホールへの移動はとにかく時間がかかる

東ホールから南・西ホールへの移動は連絡通路を使って15分以内には移動可能だが、南・西ホールから東ホールへの移動は動線確保のため、一度展示場の敷地外へ出て道路を渡る遠回りなルートを通らないといけない関係上混雑によっては30分程かかる場合がある。ホール間の行き来は最小限にしなければならない。



会場から見えるゆりかもめの車両基地
すべての車両がコミケ輸送のため出払っていた

②休憩は各ホールの外周で

東ホールや西ホールの外周は壁サークルのスペースと行列を除いてほとんど使われていないので、休憩するにはちょうど良い。友人と集まるときもホール外周で合流することが多かった。ただし夏はかなり暑くなることが予想されるので、もっと良い場所があるのかもしれない。

③最後尾のプラカードは参加者で回す

コミケでは人気サークルの待機列やトイレ待ちの行列などで列が形成され、最後尾ではそのことを示すプラカードが掲げられるが、このカードはスタッフではなく参加者が回すというルールがある。自分はこのルールを理解しておらずカードを持った人の後ろで棒立ちしてしまい迷惑を掛けたので反面教師として欲しい。このルールはスタッフ削減の目的もあるだろうが、コミケでは一般の来場者もサークルで同人誌などを頒布するクリエイターもスタッフも企業ブースの会社員も、全員が参加者と呼称され、そして参加者が一体となってコミケを作り上げているという理念がある。そのため、各スペースを区切るテープの貼り付け（測量と呼ばれる）やテーブルの設置なども、ボランティアによって行われている。このように、コミケはすべての参加者の協力によって成立し存続しているのだ。

5.戦利品紹介

いくつか鉄道島で購入した同人誌を紹介しようと思う。

①描き鉄3 サークル:ぢま鉄 著者:バーニア600

近年、毎年1月～3月頃に開催されるJR東日本主催のトレインスタンプラリーで毎度メインビジュアルやオリジナルグッズのイラストを担当しているバーニア600氏のイラスト集。自分自身も2025年のスタンプラリーから氏

を知ったことがきっかけで今回購入するに至った。内容は過去に仕事等で描かれた鉄道や女の子のイラスト＋2025年の「トレインスタンプラリー ―鉄路を駆ける栄光の車両たち―」で使われたイラストとその制作秘話が掲載されている。JRの担当者との熱いやりとりを経て描かれた精密で迫力ある絵が多数収められている。



②プラレール新横浜線運転会レポート・天通団裏レポート2・運転会参加のしおり サークル:天通団

皆さんご存知のタカラトミーのおもちゃ「プラレール」を使って現実の路線のダイヤを再現して運行するという風変わりな活動を行っているプラレールサークル「天通団」が発行している同人誌。以前行われた北日本新幹線のレポート動画をYoutubeで見て強く興味を惹かれ、今回購入するに至った。Youtubeやニコニコ動画に上がっているレポート動画は沢山の名・迷場面が異様に高い編集技術でまとめられ見ているとあっという間に時間が過ぎてしまう動画なので是非一度視聴してみて欲しい。今回のレポートでは2024年に開催された新横浜線運転会のダイヤやレイアウト、車両の準備など、動画で紹介できていなかった運転会の様子が細かく紹介されている。裏レポートでは時刻表や列車シール、名札、キャッチフレーズなど、運転会を彩る要素の制作秘話が語られ、こちらも見応えある内容だった。

6.帰路

1日目も2日目も東ホール外周から離脱。東ホール出口からは国際展示場駅も東雲駅も距離に大差がないため、1日目は空いているであろう東雲駅から帰った。2日目は早めに退場したのでルートを変えて国際展示場駅へ。時刻はまだ14時頃だったが各ドアに5人以上は並んでいた。やってきた列車は71-000形、10月にデビューしたばかりのニューフェイスだ。飽きるほど乗車したJR東日本E233系をベースにした車両だが、前面や側面、内装も青色をテーマに手が加えられて独自色がはっきり出ている。新木場からは京葉線で東京へ。東京で茨城へ帰る友人たちの乗った常磐線を見送った。



東京臨海高速鉄道71-000型
新木場駅にて

7.完走した感想

初めての参加ながら忙しい年末の時期に2日連続参加とハードなスケジュールだったが、色々なジャンルを巡り同人誌を買うとともにコミケの空気感、熱狂を味わうことができ、非常に満足した2日間だった。（財布は火の車と化したが。）本記事を読んでコミケに行きたいと思ってくれた方は、本当に楽しいオタクの祭典なので是非チャレンジして欲しい。余裕があればより過酷と言われる夏コミにさえも参加したいと思える充実したコミックマーケット初体験だった。

ここまでは冊子版の内容だが、実はこの話には後日談がある。

なんと、今から祖父母の住む**神戸へ帰省**するのだ。

自分でもかなり無理のあるスケジュールだと思うが、せっかく関西の鉄道に乗れるチャンスであり、~~コミケでの出費を取り返すお年玉をもらうチャンスなのだから~~逃すわけにはいかない。

8.東海道を往く



というわけで移動を開始。ゆりかもめか東京BRTで帰る可能性も想定して指定席を品川から取っていたので在来線でそこまで移動する。乗車するのは古河始発の上野東京ライン平塚行。この時間になると朝のダイヤ乱れは解消しもとに戻っていたようだ。何も昼食を取っていなかったので品川駅の新幹線改札内で売店を物色し（結局何も買わなかった）、ホームに移動。せっかくなのでホーム上の自販機でスジャータハイクオリティアイスクリーム、通称ｼﾝｶﾝｾﾝｽｺﾞｲｶﾀｲｱｲｽのモカフレーバーを購入しのぞみ437号に乗車。



なかなかのお値段（確か370円）だが、その分一般のアイスクリームとは一線を画す深みのある味わいだ。ただ自販機販売のためかそんなに固くなかったのはちょっと残念。

切符を取った数日前の時点で2列席の窓側も取れるほど空いていたが、いざ乗車してみるとほぼ満員。さすがは日本の大動脈である。

今回乗ったのはN700S系、全座席にコンセントがついているので充電に利用させてもらう。他の特急型車両やグリーン車も早く全席コンセントが標準になってもらいたい。特に首都圏のグリーン車は場合によっては特急券より値段が高くなっているので早急にテコ入れしてもらいたいものだ。

今回乗ったのぞみは新大阪行き。「神戸に向かうのに新神戸まで行かないの？」と思うかもしれないが新神戸は神戸市営地下鉄しか通っておらず乗り継ぎが面倒な上に、本数の減少による指定席確保の難易度上昇や距離が伸び高価な特急料金になることを考えると新大阪で特急顔負けの速度を誇る新快速（これに乗る目的もある）に乗り換えて三ノ宮や神戸に向かうほうがコスパが良いのでここ10年は利用していない。けれど某新神戸ニキの影響で裏側の滝を見に行きたいので次回は新神戸を使うかも。



新大阪からはスピード狂として名を馳せる新快速の姫路行きに乗車。今回やってきたのは225系。三音目に音が高くなるJR西日本の4点ドアチャイムを聴くと西日本に来た実感が湧いてくる。転換クロスシートは言うまでもないが、貫通扉の窓が関東の普通列車でよく見る横幅の広い大きな窓とは違い、横幅が狭く縦に長い形状となっている点、床の中央が座席のある左右より明るい色に

なっておりカーペットのように見える点なども高級感を感じるポイントだ。
30分で阪神間を駆け抜け、東京駅から続く東海道本線の終着駅・神戸駅で下車。神戸市には兵庫駅、神戸駅、三ノ宮駅があるが、特急スーパーはくとの全列車や上りサンライズも停車する三ノ宮駅、特急はまかぜや新快速は止まるが大半のスーパーはくとや上りサンライズが通過する神戸駅、特急も新快速も停車しない兵庫駅と、県名、市名、地区名の駅の序列が逆転しているのが面白い。

9.神戸!神戸!神戸!神戸!神戸!神戸!神戸!神戸!

神戸駅からは約5分歩いて神戸高速線の高速神戸駅へ向かう。神戸高速線は第三セクターの神戸高速鉄道が施設を保有する神戸市中心部に乗り入れる私鉄四社の連絡・乗り入れが行われている路線で、高速神戸駅にはそのうち阪急、阪神、山陽の三社の列車が乗り入れ、阪神や山陽から来てここ高速神戸止まりとなる普通列車も多い。ここから阪急からやってきた特急新開地行に乗り一駅で終点の新開地に到着。



新開地からは神戸電鉄（新開地～湊川は神戸電鉄からの列車しか運行していないが神戸高速鉄道の保有施設）に乗って祖父母の家の最寄り駅へ。神戸電鉄は六甲山地を越えるため50‰の急勾配が存在し、登山鉄道の様相を呈する。車種も豊富で新開地～鈴蘭台間は本数も結構多く面白い路線だ。路線は新開地～湊川の神戸高速線、湊川～鈴蘭台～有馬口～有馬温泉の有馬線、有馬口～横山～三田の三田線（さんだせん）、横山～ウッディタウン中央の公園都市線の4路線がある。三田線や神戸市営地下鉄の山手線（やまてせん）は首都圏の人は初見では絶対に読み間違えるだろう。

10.年越し

19時過ぎに祖父母の家の最寄り駅に到着し、紅白歌合戦の放映開始までに家に着くことができた。このあと長い旅路に連れ回した戦利品を読んだりして大晦日と元旦を過ごし、1月2日は山岳部員らしく（練習は1年生の4月以来行っていないが）去年の元旦に道程の約半分をやり残した六甲全山縦走を一年がかりでやり遂げ、1月3日は途中名古屋で名鉄などに乗るなど寄り道しながら、特急・新幹線を使わず普通列車のみで土浦へ帰った。それらの写真を掲載して記事を閉じようと思う。

↓新年最初に乗った列車 神戸線カービィ号



↓神戸の夜景の展望で有名な掬星台から











↑大雪の彦根を130km/hで爆走した新快速

↓ﾄﾞｩﾜｧ!ｾﾝｼﾞｭｳﾆ!!



↓内海駅からの乗客0人だったんですけど……。

